



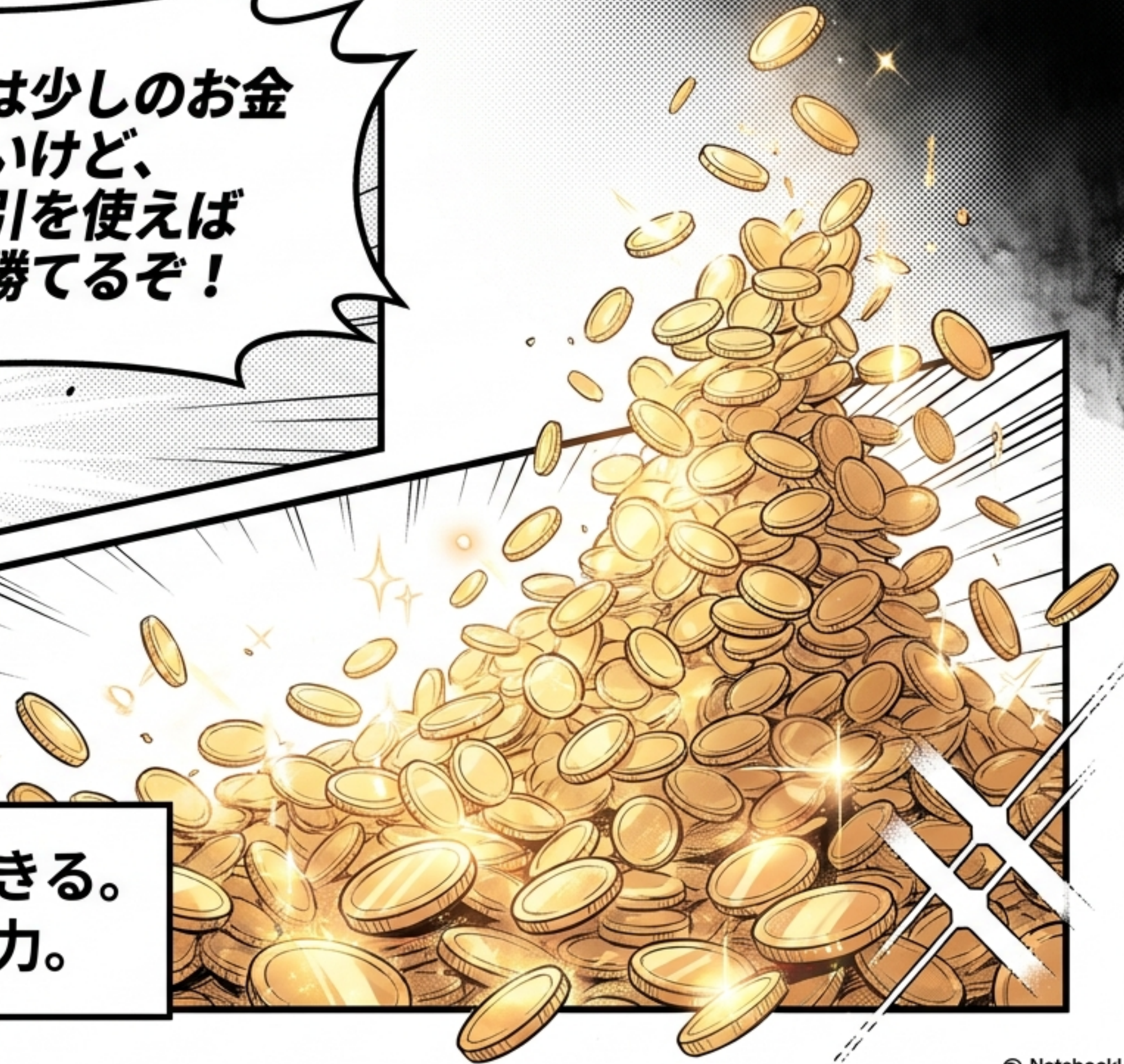
信用取引と保証金

～見えない借金と見えるリスク～



手元には少しのお金
しかないけど、
信用取引を使えば
大きく勝てるぞ！

少ない資金で大きな取引ができる。
これがレバレッジの最大の魅力。





待つんじゃ！
それは『見えない借金』
を抱える戦いじゃぞ。

効率



崩れる速度



借りている以上、必ず返す責任がある。
この前提を軽視した瞬間、投資は「投機」に変わる。

HPゲージ

保証預託率

$$100\text{万円} \div 300\text{万円} \times 100 = 30\%$$



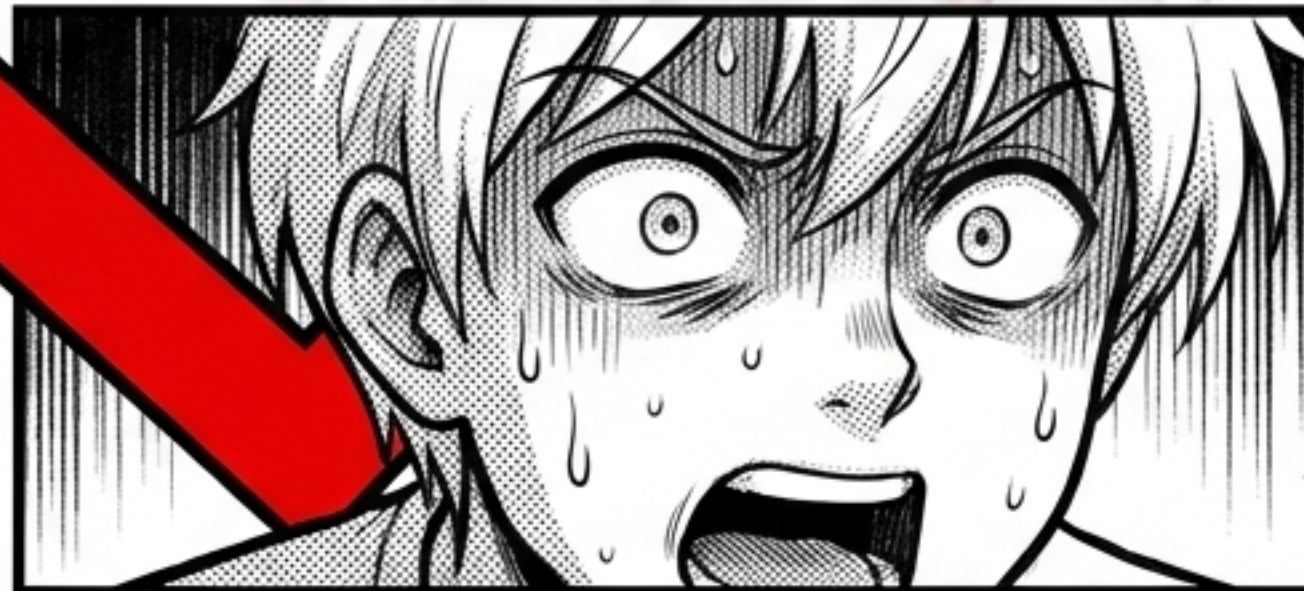
保証預託率とは？

どれだけの担保で、どれだけの取引をしているかを示す比率。これが、あなたの「生命線」となる。

HPゲージ

$$100\text{万円} \div 300\text{万円} \times 100 = 30\%$$

保証預託率



えっ…相場が
下がったら、
ゲージの減りが
早すぎる…!

相場下落

**含み損が
増える**

**保証預託率が
低下する**

最大の罠：何を担保にしているか？

現金担保



現金は価値が安定。
ダメージは「**含み損**」のみ。

株式担保



ダブルで削られる最大の罠。
株価下落時、保証率が**急激に崩壊**する。

追証(マージンコール)発生!

強制決済

追加資金を
入れられなければ...

最悪のタイミングで
強制的に損切りされる。
これが信用取引の本当の恐ろしさ。

「制御できる損」と「制御できない損」

自分で切る損



コントロール可能。致命傷を避けられる。

強制される損



コントロール不可能。すべてを失う。

この差の差は決定的じゃ。
強制される前に、自ら動かねばならん。

余白 (YOHAKU)

ギリギリで戦わないこと。
資金にも、精神にも「余白」を持つ。
その余白こそが、最大の防御となる。

実践・基本原則(防衛の装備)

常に状況を確認する



短期で完結させる



保証金を多めに入れる



現金比率を高くする
(株式担保に頼らない)



ポジションを持ちすぎない
(軽く保つ)



リスク管理は「技術」ではなく「規律」



**ルールを守る。感情を挟まない。
規律なきレバレッジは破滅への道。**



**人は慢心する。実力以上に勝てた気になってしまう。
しかし、錯覚に気づいた者だけが、生き残る。**

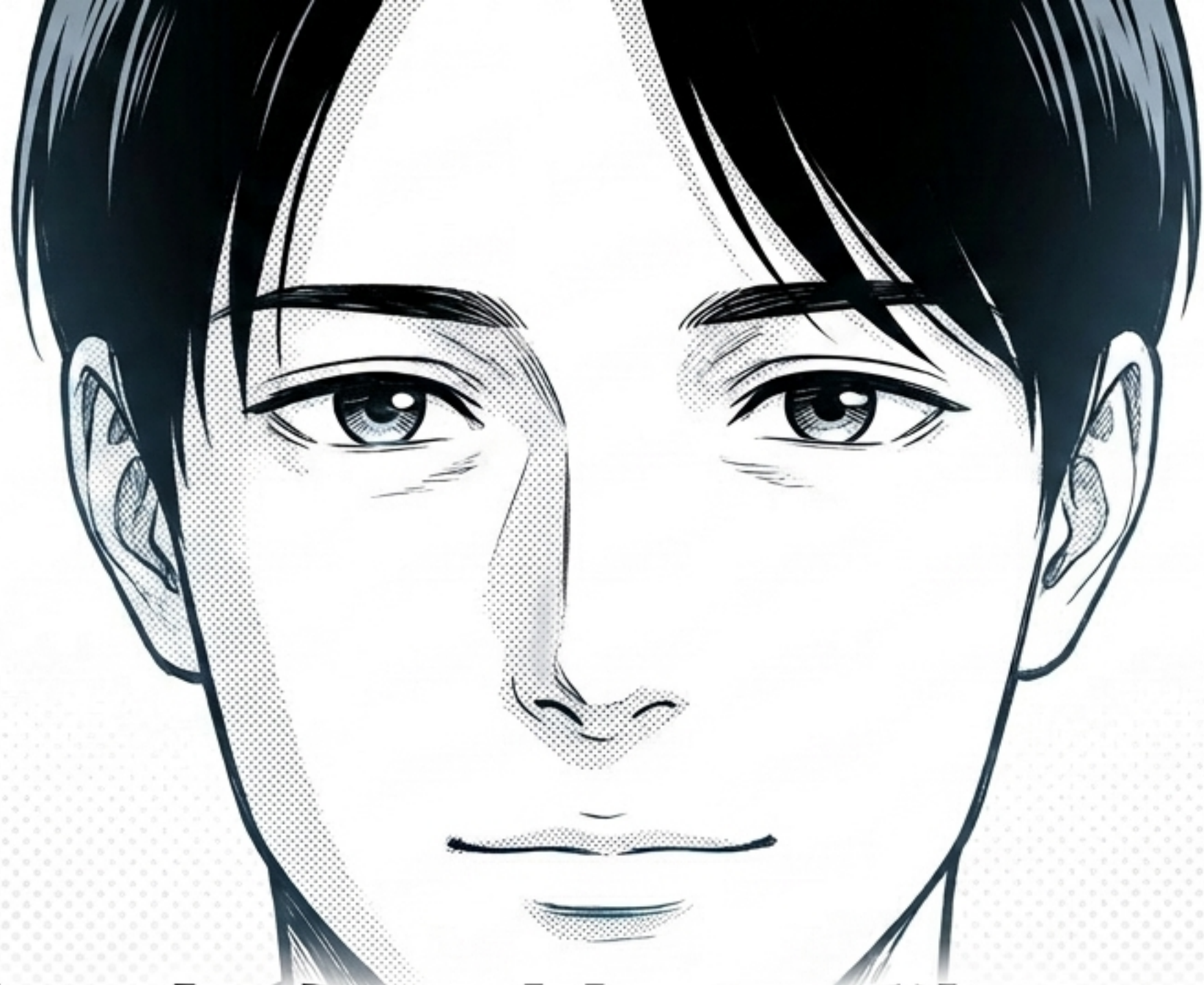
借りる前に整えよ

資金を整える

ルールを整える

リスクを整える

信用とは、信じて借りる力であり、返す責任でもある。
扱う者の「在り方」が問われている。



あなたは今、余白を持って戦えていますか？

その余白が、あなたの未来を守ります。